

容器包装リサイクルに係る費用算定に関するアンケート調査票

◆ 記入上の注意

本アンケート票は分別収集実績の報告単位で発送しております。貴市区町村の収集・選別保管を全て一部事務組合で実施している場合には、お手数ですが、本アンケート票を一部事務組合に転送いただき、一部事務組合単位でご記入下さい。また、収集は直営又は民間委託しており、選別・保管は一部事務組合で実施している場合には、一部事務組合には転送せず、市区町村単位でご回答下さい。

構成市区町村から、本調査票が転送された一部事務組合の方は、複数の調査票が転送された場合、一票のみご回答いただき、他の調査票は処分してください。

回答は車両購入費、施設の事業費等初期投資を除いては、全て平成14年度実績値をご記入下さい。

費用等の金額に関する設問において、消費税がかかる場合には、消費税込みの金額を記入して下さい。

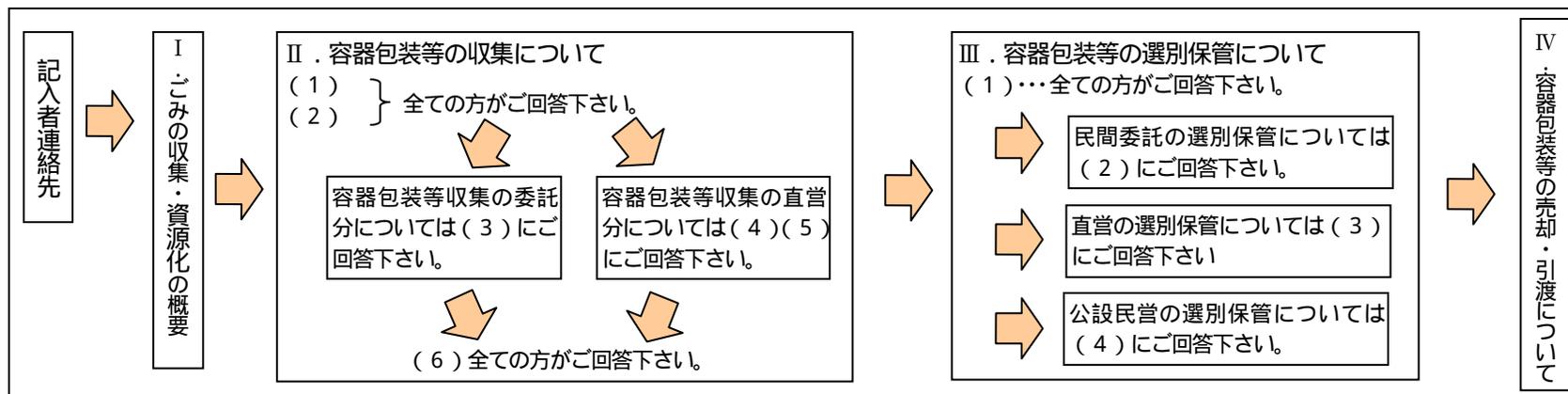
各質問で回答欄が足りない場合は、お手数ですが、欄をコピーして記入して下さい。

本調査は昨年度に引き続き実施させていただきますが、昨年度結果を踏まえ、調査票の修正を行っております。記入に際しては、各設問の説明をお読みの上、ご回答下さい。

回答は、平成15年12月20日までに、ご投函下さい。

◆ 回答の手順

- ☞ 「記入者連絡先」、「Ⅰ」、「Ⅱ.の(1)(2)(6)」、「Ⅲ.の(1)」は、全ての方がご回答下さい。
- ☞ 「Ⅱ.(3)(4)(5)」、「Ⅲ.(2)(3)(4)」、「Ⅳ」は、各設問の条件に該当する場合にご回答下さい。



記入者連絡先

都道府県名		市区町村・一部事務組合名	
構成市区町村名 (一部事務組合の場合)			
電 話		F A X	
担当部署		記入者氏名	

I. ごみの収集・資源化の概要

(1) 貴市区町村等の計画収集人口を記入して下さい。

平成14年度計画収集人口		人
--------------	--	---

(2) 一般廃棄物の収集量等

- ① 一般廃棄物の種類別に、「①直営」～「④直接搬入」の量を記入してください。
- ② ①～④の合計を「⑤合計」に記入し、さらに、合計に占める家庭系ごみの割合(%)を可能な範囲で区分し、「⑥家庭系」の欄に記入して下さい。
- ③ 「A可燃ごみ」と「B不燃ごみ」を区別していない場合は、「C混合ごみ」の欄に記入して下さい。
- ④ 「Eその他ごみ」は粗大ごみ、有害ごみ等A～D以外のごみが該当します。また、「B不燃ごみ」と粗大ごみ、「D資源ごみ」と粗大ごみを混合収集し、分割できない場合なども「Eその他ごみ」の欄に記入して下さい。

	直営	委託	許可	直接搬入	合計	
						家庭系
A可燃ごみ	t	t	t	t	t	%
B不燃ごみ	t	t	t	t	t	%
C混合ごみ	t	t	t	t	t	%
D資源ごみ	t	t	t	t	t	%
Eその他ごみ	t	t	t	t	t	%
合計	t	t	t	t	t	

II. 容器包装等の収集について

(1) 容器包装等の家庭からの排出区分ごとに、ごみの種類を選択して下さい。

- ① 「①排出区分」とは、各家庭で排出する際に1つにまとめる区分(同じ袋に入れる、一緒にひもでしぼる等の区分)を指します。
- ② 各排出区分を構成している容器包装等の組合せを「②ごみの種類」の1～13の番号に○をして示して下さい。なお、「②ごみの種類」のうち、容器包装とまとめずに非容器包装(10新聞～13その他)のみを排出する区分については回答の必要はございません。

例1: 「5プラ容包」、「6白トレイ」、「12非容包ブラ」を同じ日に排出する場合、3つを同じ袋に入れる等まとめて排出している場合は、同じ排出区分の行の5、6、12に○をして下さい。 3つをそれぞれ別々の袋に入れる等して排出している場合は、別の排出区分として、排出区分の行を分けて5と6に○をして下さい。 この場合、12は非容器包装のみでの排出となるため、記入の必要はございません。

排出区分	 プラ容包、白トレイ、非容包ブラ	⇒	回答
			排出区分(1) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

	 プラ容包		排出区分(1) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13
	 白トレイ		排出区分(2) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13
	 非容包ブラ		

例2: 「1スチール缶」、「2アルミ缶」、「4ペットボトル」を収集しており、「1スチール缶、2アルミ缶」は同じ袋で、「4ペットボトル」は別の袋で排出している場合、排出区分(1)の行の「1」と「2」、排出区分(2)の行の「4」に○をしてください。

排出区分	 スチール缶、アルミ缶		 ペットボトル	⇒	回答
					排出区分(1) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13
					排出区分(2) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

排出区分	ごみの種類												
	容器包装等									非容器包装			
	1. スチール缶	2. アルミ缶	3. びん	4. ペットボトル	5. プラ容包	6. 白トレイ	7. 紙パック	8. 段ボール	9. 紙容包	10. 新聞	11. 雑誌・雑紙	12. 非容包プラ	13. その他
排出区分(1)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
排出区分(2)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
排出区分(3)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
排出区分(4)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
排出区分(5)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
排出区分(6)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
排出区分(7)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
排出区分(8)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
排出区分(9)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13

(2) 容器包装等の収集について、直営、委託の状況として該当する番号(1~3)に1つ をして下さい。

☞ (1) に回答いただいた容器包装等の収集が全て委託の場合は「1」に○をし、(3)(6)に回答して下さい。全て直営の場合は「2」に○をし、(4)(5)(6)に回答して下さい。容器包装等の収集に委託と直営がある場合は「3」に○をし、(3)~(6)の全てに回答して下さい。

1. 容器包装等の収集は委託のみ	→	(3)(6)に回答し、Ⅲへお進み下さい。
2. 容器包装等の収集は直営のみ	→	(4)(5)(6)に回答し、Ⅲへお進み下さい。
3. 容器包装等の収集には委託と直営がある	→	(3)(4)(5)(6)に回答し、Ⅲへお進み下さい。

(3) では、収集を委託している容器包装等について、積載区分ごとの収集量、委託区分ごとの委託費用等をお尋ねします。

(4) では、直営収集について、容器包装等の積載区分ごとの収集実態等をお尋ねします。

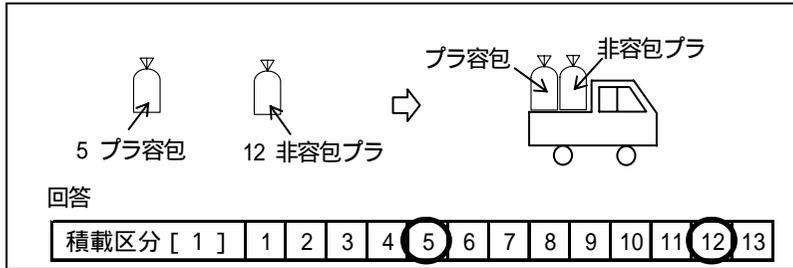
(5) では、直営収集について、容器包装等の収集車両に係わる費用と収集稼働実績等をお尋ねします。

(6) では、収集に係わるその他費用等をお尋ねします。

(3) 【委託の場合】委託収集量、委託費用についてご回答下さい。

a) 委託収集物の積載区分と積載量について

- ①「積載区分」とは、同じ収集車に混載する区分を指します。したがって排出区分が別であっても同じ車両に積載して収集していれば同じ積載区分となります。
 - ②各積載区分を構成している容器包装等の組合せを「②ごみの種類」の列の番号に○をして示して下さい。
- 例：排出区分が別でも、「5 プラ容包」と「12 非容包プラ」を同じ車両に積んで収集している場合、同じ行の5と12に○をして下さい。

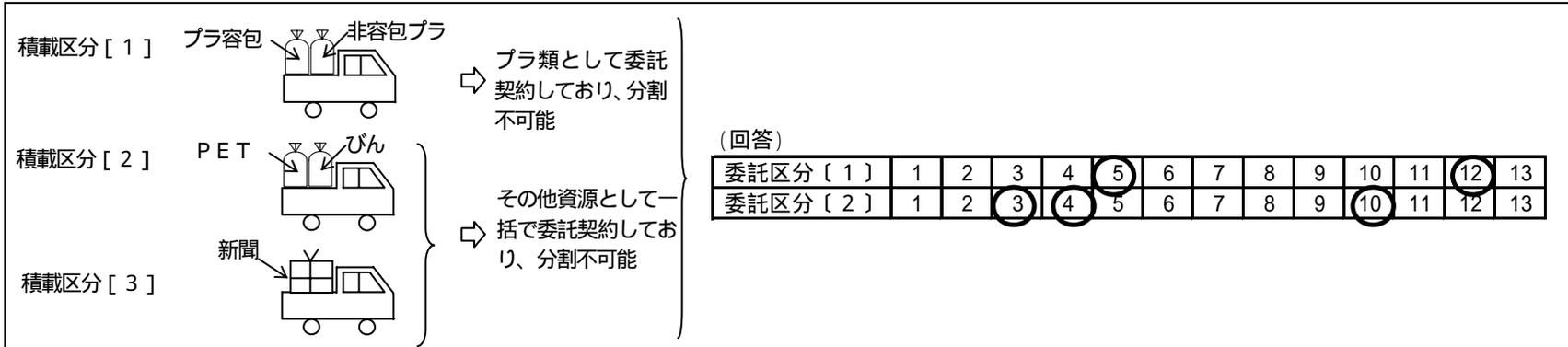


- ③「委託収集量」は、積載区分を構成する容器包装等の実合計量であり、積載時に含まれる異物、水分等も含んだ量を記入して下さい。

積載区分	ごみの種類													委託収集量
	容器包装等									非容器包装				
	1. スチール缶	2. アルミ缶	3. びん	4. ペットボトル	5. プラ容包	6. 白トレイ	7. 紙パック	8. 段ボール	9. 紙容包	10. 新聞	11. 雑誌・雑紙	12. 非容包プラ	13. その他	
積載区分 [1]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年
積載区分 [2]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年
積載区分 [3]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年
積載区分 [4]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年
積載区分 [5]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年
積載区分 [6]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年
積載区分 [7]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年
積載区分 [8]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年
積載区分 [9]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年

b) 委託区分と委託費用について

- ①「委託区分」とは、貴市区町村等が、民間事業者等に収集を委託している区分を指します。
 - ②各委託区分を構成している容器包装等の組合せを「②ごみの種類」の列の番号に○をして示して下さい。
- 例：民間事業者に、「3びん」「4ペットボトル」「5プラ容包」「10新聞」「12非容包プラ」の委託をしており、「5プラ容包」「12非容包プラ」はプラ類としての契約で、その他の容器包装等は一括して契約している場合、各契約区分を構成する容器包装等ごとには委託費用を分割できなければ、委託区分 [1] の行の「5」と「12」、委託区分 [2] の行の「3」「4」「10」に○をして下さい。尚、下図のように積載するトラックが異なっても、委託区分が同じで、費用を容器包装等ごとに分割できない場合は一つの行にまとめて○をして下さい。

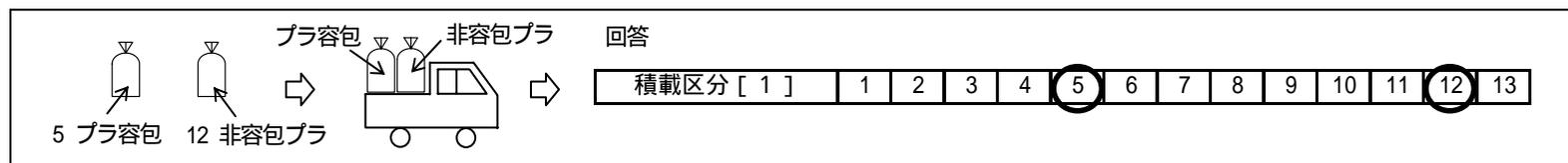


- ③「委託収集量」は、委託区分ごとに収集する容器包装等の実合計量であり、積載時に含まれる異物、水分等も含んだ量を記入して下さい。
- ④「委託業務」は、委託業務範囲が収集のみの場合はア、収集後の選別保管も同じ事業者に一括して委託している場合はイに○をして下さい。
- ⑤「委託費用」は、委託区分ごとに、年間総額を記入して下さい。④で「イ. 収集と選別」を選択した区分については、選別分も含めた委託費用を記入して下さい。
- ⑥「委託形態」は、委託費用が、収集量等による変動制の場合はア、月極め、年極め等期間固定の場合はイに○をして下さい。
- ⑦「委託費の算定根拠」は、委託費が収集量に基づく場合はア、作業員人数に基づく場合はイ、車両台数に基づく場合はウ、不明の場合はエに○をして下さい。また、算定根拠がその他にある場合はエに○をし、() 内にその算定根拠を記入して下さい。
- ⑧「委託費決定方法」は、入札の場合ア、協議の場合イ、その他の場合ウに○をして下さい。なお、その他に○をした場合は() 内に決定方法を記入して下さい。
- ⑨「資源物収支」は、④で「イ. 収集と選別」を選択した区分についてのみご回答下さい。委託事業者で選別された再商品化物を指定法人に引渡す場合はア、委託事業者の収入（又は費用）になる場合はイ、市区町村等の収入（又は費用）になる場合はウに○をして下さい。

委託区分	ごみの種類													委託収集量	委託業務 ア. 収集のみ イ. 収集と選別	委託費用	委託形態 ア. 変動制 イ. 固定制 (日極、月極、年極等)	委託費の算定根拠 ア. 収集量 イ. 作業員人数 ウ. 車両台数 エ. 不明 オ. その他	委託費決定方法 ア. 入札 イ. 協議 ウ. その他	資源物収支 ア. 指定法人 イ. 委託事業者 ウ. 市区町村等
	容器包装等									非容器包装										
	1. スチール缶	2. アルミ缶	3. びん	4. ペットボトル	5. プラ容包	6. 白トレイ	7. 紙パック	8. 段ボール	9. 紙容包	10. 新聞	11. 雑誌・雑紙	12. 非容包プラ	13. その他							
委託区分〔1〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	ア. イ.	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ. オ ()	ア. イ. ウ. ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔2〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	ア. イ.	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ. オ ()	ア. イ. ウ. ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔3〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	ア. イ.	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ. オ ()	ア. イ. ウ. ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔4〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	ア. イ.	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ. オ ()	ア. イ. ウ. ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔5〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	ア. イ.	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ. オ ()	ア. イ. ウ. ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔6〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	ア. イ.	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ. オ ()	ア. イ. ウ. ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔7〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	ア. イ.	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ. オ ()	ア. イ. ウ. ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔8〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	ア. イ.	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ. オ ()	ア. イ. ウ. ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔9〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	ア. イ.	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ. オ ()	ア. イ. ウ. ()	ア. イ. ウ.

(4) 【容器包装等の収集が直営の場合】容器包装等の積載区分ごとの収集実績等についてご回答下さい。

- ①「①積載区分」とは、同じ収集車に混載する区分を指します。したがって排出区分が別であっても同じ車両に積載していれば同じ積載区分となります。
- ②各積載区分を構成している容器包装等の組合せを「②ごみの種類」の列の番号に○をして示して下さい。
例：排出区分が別でも、「5 プラ容包」と「12 非容包プラ」を同じ車両に積んで収集している場合、同じ行の5と12に○をして下さい。



- ③「③直営収集量」は、積載区分を構成する容器包装等の実合計量であり、積載時に含まれる異物、水分等も含んだ量を記入して下さい。
- ④「④出勤回数」は、積載区分ごとの年間の出勤回数を記入して下さい。同じ車両が1日に2度資源化施設や積み替え施設に搬入していた場合は、2回とカウントして下さい。
- ⑤「⑤出勤1回当たりの所要時間」には、積載区分ごとの「出勤から資源化施設・積み替え施設に搬入するまで」の平均的な所要時間を記入して下さい。例えば、1時間半の場合は1.5、1時間45分の場合は1.75と記入して下さい。
- ⑥「⑥主要車両」の欄には、各積載区分で主に利用している車両について、車種を選択し、1台当たり乗車人数、最大積載量を記入して下さい。
 - 車種について、「ア. パッカー」には、回転板式、圧縮板式、荷箱回転式の機械車が該当し、「イ. 平ボディ」にはトラックやダンプ車が該当します。「ウ. その他特殊車」には、電動式収集車や、多室型分別収集車、処理機搭載型収集車等が該当します。
 - 一台当たり乗車人数は、積載出勤時の平均乗車人員数を記入して下さい。なお、整数にならない場合は、小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで記入して下さい。
 - 最大積載量は、車両の規格として表示されている最大積載量を記入して下さい。なお、小数点第三位を四捨五入し、小数点第二位まで記入して下さい。
- ⑦「⑦袋・コンテナ配布」欄は、上記「①積載区分」ごとに、繰り返し使用する重袋やコンテナケースの利用状況をお尋ねします。
 - 配布状況は、袋・コンテナを、ごみ回収時に配布している場合はアに、配布のために別途、車両を出動させている場合はイに、袋・コンテナを配布していない場合はウに○をして下さい。
 - 配布出勤回数は、「a. 配布状況」でイを選択した場合のみ、その配布出勤回数を記入して下さい。
 - 配布1回当たり所要時間は、「a. 配布状況」でイを選択した場合のみ、配布出勤1回当たりの平均的な所要時間を記入して下さい。例えば、1時間15分の場合は、1.25と記入して下さい。
 - 一台当たり乗車人数は「a. 配布状況」でイを選択した場合のみ、その配布車両に乗車する人数を記入して下さい。なお、整数にならない場合は小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで記入して下さい。
 - 袋・コンテナの種類は、「a. 配布状況」でアまたはイを選択した場合のみ、利用しているのが重袋等の袋の場合はア、コンテナケースの場合はイに○をして下さい。
 - 利用数量は、「a. 配布状況」でアまたはイを選択した場合のみ、各積載区分で利用している袋・コンテナの数量を記入して下さい。
 - 袋・コンテナ代は、「a. 配布状況」でアまたはイを選択した場合のみ、当該積載区分に利用する袋・コンテナの年間費用を記入して下さい。例えば、1個1000円のコンテナ500個を5年間補充せず利用する場合、10万円/年となる。

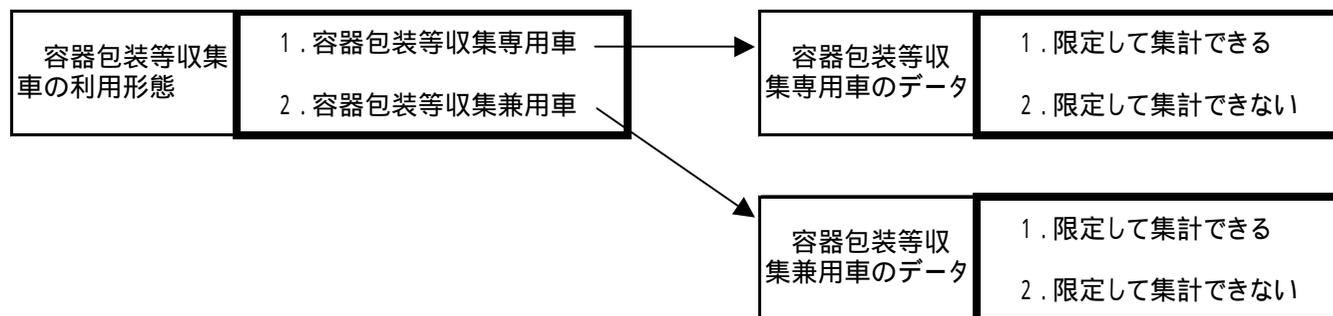
積載区分	ごみの種類													直営収集量	出動回数	出動1回 当たりの所 要時間	主要車両		
	容器包装等									非容器包装							a.車 種 ア：パッカー イ：平ボディ ウ：その他特 殊車	b. 1台当 たり乗車人数	c. 最大積載 量
	1. スチ ール 缶	2. アル ミ缶	3. び ん	4. ペッ トボ トル	5. プラ 容包	6. 白ト レイ	7. 紙パ ック	8. 段ポ ール	9. 紙容 包	10. 新聞	11. 雑誌 ・雑 紙	12. 非容 包 プラ	13. そ の 他						
積載区分 [1]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	回/年	h/回	ア・イ・ウ	人/台	t/台
積載区分 [2]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	回/年	h/回	ア・イ・ウ	人/台	t/台
積載区分 [3]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	回/年	h/回	ア・イ・ウ	人/台	t/台
積載区分 [4]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	回/年	h/回	ア・イ・ウ	人/台	t/台
積載区分 [5]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	回/年	h/回	ア・イ・ウ	人/台	t/台
積載区分 [6]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	回/年	h/回	ア・イ・ウ	人/台	t/台
積載区分 [7]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	回/年	h/回	ア・イ・ウ	人/台	t/台
積載区分 [8]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	回/年	h/回	ア・イ・ウ	人/台	t/台
積載区分 [9]	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	回/年	h/回	ア・イ・ウ	人/台	t/台

積載区分	袋・コンテナ配布						
	a. 配布状況 ア：収集時配布 イ：別途配布 ウ：配布せず	aでイに をした場合			aでアまたはイに をした場合		
		b. 配布出動 回数	c. 配布1回当 たり所要時間	d. 一台当 たり乗車人数	e. 袋・コンテナ の種類	f. 利用数量	g. 袋・ コンテナ代
積載区分 [1]	ア・イ・ウ	回/年	h/回	人/台	ア・袋 イ・コナ	枚・個	万円/年
積載区分 [2]	ア・イ・ウ	回/年	h/回	人/台	ア・袋 イ・コナ	枚・個	万円/年
積載区分 [3]	ア・イ・ウ	回/年	h/回	人/台	ア・袋 イ・コナ	枚・個	万円/年
積載区分 [4]	ア・イ・ウ	回/年	h/回	人/台	ア・袋 イ・コナ	枚・個	万円/年
積載区分 [5]	ア・イ・ウ	回/年	h/回	人/台	ア・袋 イ・コナ	枚・個	万円/年
積載区分 [6]	ア・イ・ウ	回/年	h/回	人/台	ア・袋 イ・コナ	枚・個	万円/年
積載区分 [7]	ア・イ・ウ	回/年	h/回	人/台	ア・袋 イ・コナ	枚・個	万円/年
積載区分 [8]	ア・イ・ウ	回/年	h/回	人/台	ア・袋 イ・コナ	枚・個	万円/年
積載区分 [9]	ア・イ・ウ	回/年	h/回	人/台	ア・袋 イ・コナ	枚・個	万円/年

(5) 【容器包装等の収集が直営の場合】収集車両に係わる費用と収集稼働実績等についてご回答下さい。

a) 容器包装等の収集車両について

- ①「①容器包装等収集車の利用形態」は、容器包装等を収集している車両が、容器包装等の収集のみに利用している専用車の場合は1に○をし、②へお進み下さい。可燃ごみ、不燃ごみ等、他のごみの収集にも利用している兼用車の場合は2に○をし、③へお進み下さい。
- ②「②容器包装等収集専用車のデータ」は、次のb) の設問にある収集車の車種ごとの「②台数」～「⑧リース・レンタル費用」のデータを、専用車に限定して集計することが可能な場合は1に、専用車分に限定して集計できない場合は2に○をして下さい。
- ③「③容器包装等収集兼用車のデータ」は、次のb) の設問にある収集車の車種ごとの「②台数」～「⑧リース・レンタル費用」のデータを、兼用車に限定して集計することが可能な場合は1に、兼用車分に限定して集計できない場合は2に○をして下さい。



b) 収集車両に係わる費用と収集稼働実績について

- ①の収集車種ごとに、a) の「②容器包装等収集専用車のデータ」で「1. 限定して集計できる」を選択した場合は、容器包装等専用車の費用等を、a) の「③容器包装等収集兼用車のデータ」で「1. 限定して集計できる」を選択した場合は、他のごみとの兼用で容器包装等の収集に利用している車両の費用等を、a) の②、③で「2. 限定して集計できない」を選択した場合は、直営の全車両の費用等を記入して下さい。
- ①「①収集車種」は、パッカー、平ボディ、その他特殊車の区分とともに、保有かリース・レンタルかで区分しています。リース・レンタルをしていない場合には、リース・レンタルの行は回答の必要ございません。また、保有分とリース・レンタル分があっても、「⑤年間燃料費用」、「⑥年間維持管理費用」、「⑦のべ出動回数」を区分できない場合には、⑤、⑥、⑦については「保有」の行にまとめて記入して下さい。
- ②「②台数」には、①の収集車種ごとの台数を記入して下さい。
- ③「③車両総購入費用」は、保有台数分の購入費用総額を記入して下さい。
- ④「④平均耐用年数」は、保有車両の耐用年数の平均値を記入して下さい。
- ⑤「⑤年間燃料費用」は、1台当たりではなく、台数分の年間合計を記入して下さい。
- ⑥「⑥年間維持管理費用」も、1台当たりではなく、台数分の年間合計を記入して下さい。維持管理費用には、当該車両を維持していく上で、年間で必要となる全ての費用（修繕費、保険料、自動車重量税等）が含まれるとお考え下さい。
- ⑦「⑦のべ出動回数」は、1台当たりではなく、台数分の年間合計を記入して下さい。容器包装等の収集に繰り返し使用する重袋やコンテナケースを利用している場合、その配布のために別途車両を出動させていれば、その数も含めてご回答下さい。

例：使用するパッカー車が5台あり、うち3台が400回、2台が300回出動している場合、1800回/年（＝3×400＋2×300）を、パッカー車の「⑦のべ出動回数」に記入して下さい。

☞ 「⑧リース・レンタル費用」には、車種ごとの年間のリース・レンタル費用を記入して下さい。

収集車種		台数	車両総購入費用	平均耐用年数	年間燃料費用	年間維持管理費用	のべ出動回数	リース・レンタル費用
パッカー車	保有	台	万円	年	万円/年	万円/年	回/年	
	リース・レンタル	台			万円/年	万円/年	回/年	万円/年
平ボディ	保有	台	万円	年	万円/年	万円/年	回/年	
	リース・レンタル	台			万円/年	万円/年	回/年	万円/年
その他特殊車両	保有	台	万円	年	万円/年	万円/年	回/年	
	リース・レンタル	台			万円/年	万円/年	回/年	万円/年

c) 直営収集に係わる人件費等について

- ☞ 「①収集人員数」には、可燃ごみや不燃ごみ等容器包装等以外も含む直営収集に直接携わっている全人員の数を記入して下さい。
- ☞ 「②人件費総額」には、「①収集人員数」にかかる人件費総額（福利厚生等にかかる費用も含む）を記入して下さい。
- ☞ 「③総労働時間」には、「①収集人員数」分の年間労働時間合計を記入して下さい。例えば、収集人員が5人で、1人年間1500時間働いている場合7,500（時間/年）を記入して下さい。
- ☞ 「④総出動回数」には、直営収集車全車両の総出動回数を記入して下さい。なお、上記b) で全直営収集車を対象に回答されていれば、「④総出動回数」は、b) の「⑦のべ出動回数」の3つの車種の合計値と一致します。
- ☞ 「⑤容器包装等以外のごみ収集車への1台当たり乗車人数」には、容器包装等以外のごみ（可燃ごみ、不燃ごみ等）を収集する車両に乗車する1台当たり乗車人数を記入して下さい。なお、整数にならない場合は小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで記入して下さい。

収集人員数	人件費総額	総労働時間	総出動回数	容器包装等以外のごみ収集車への1台当たり乗車人数
人/年	万円/年	時間/年	回/年	人/台

(6) 【全ての方がご回答下さい】収集に係わるその他の費用等について

- ① 収集に係わるその他の費用について該当する費目があれば、その費用と具体的な内容をご回答下さい。
- ② 「①自治会等への報償金」には、容器包装等の収集に際して、協力自治会等に支払っている報償金を記入して下さい。
- ③ 「②収集ステーションの維持費」には、ステーションのカラス対策ネット費や清掃費等の維持費を記入して下さい。
- ④ 「③広報費用」には、住民配布用のごみカレンダーやパンフレット等、容器包装リサイクルに係わる広報費（人件費は除く）を記入して下さい。
- ⑤ 「④その他」には、ここに挙げた費目以外に、負担の大きい容器包装等の直営収集にかかる費用があれば、その年間費用を記入して下さい。なお、間接部門の人件費は対象外とお考え下さい。

費目	年間費用	具体的な内容
自治会等への報償金	万円/年	
収集ステーションの維持費	万円/年	
広報費用	万円/年	
その他	万円/年	

Ⅲ．容器包装等の選別保管について

(1) 容器包装等の選別保管の形態について、該当する番号(1～5)全てに をして下さい。

- ① IIの(3)または(4)に回答いただいた積載区分物の選別保管について、該当する選択肢に○をし、各選択肢の指示に沿ってお進み下さい。
- ② 選別保管の形態が複数該当する場合には、該当するもの全てに○をし、それぞれの指定する設間にご回答下さい。
- ③ 直営施設で一部を民間業者等に部分委託をしている場合は、「4」に○をして下さい。
- ④ 「2」は、IIの(3)のb)の「④委託業務」において「イ. 収集と選別」に○をした方が該当します。

1. 民間事業者に委託している(但し、その積載区分物の収集は直営又は別の委託事業者である) → (2)(P.11)に回答して下さい。
2. 民間事業者に委託している(但し、その積載区分物の収集も同一業者に一括で委託している) → (P.16)にお進み下さい。
3. 直営で行っている(但し、収集は市区町村ごとであるが、選別は一部事務組合である) → ここで回答いただく項目は終了です。ご協力ありがとうございました。
4. 直営で行っている(3.の場合以外) → (3)(P.12,13)に回答して下さい。
5. 公設民営である → (4)(P.14,15)に回答して下さい。

(2)【選別保管を委託されている容器包装等について】容器包装等の収集委託区分ごとに、年間委託費用等を記入して下さい。

- ① 「①委託区分」とは、民間事業者等に選別保管を委託している区分を指します。
- ② 各委託区分を構成している容器包装等の組合せを「②ごみの種類」の列の番号に○をして示して下さい。
例：「1. スチール缶」と「5. プラ容包」の選別保管を委託しており、それぞれ別の施設で選別保管していても、同じ民間事業者に一括して委託費を支払っており、費用をスチール缶とプラ容包に分割できない場合は、同じ委託区分の行の1と5に○をして下さい。
- ③ 「③委託処理量」は委託区分ごとの処理量の実合計量であり、搬入時に含まれる異物、水分等も含んだ量を記入して下さい。
- ④ 「④委託費用」は、委託区分ごとに、年間総額を記入して下さい。
- ⑤ 「⑤委託形態」は、委託費用が、処理量等による変動制の場合はア、月極め、年極め等期間固定の場合はイに○をして下さい。
- ⑥ 「⑥委託費の算定根拠」は、委託費が処理量に基づく場合はア、作業人員数に基づく場合はイ、不明の場合はウに○をして下さい。また、算定根拠がその他にある場合はエに○をし、() 内にその算定根拠を記入して下さい。
- ⑦ 「⑦委託費決定方法」は、入札ではア、協議ではイ、その他ではウに○をして下さい。なお、ウに○をした場合は() 内に決定方法を記入して下さい。
- ⑧ 「⑧資源物収支」は、委託事業者で処理された再商品化物を指定法人に引渡す場合はア、委託する業者の収入 (又は費用) になる場合はイ、市区町村等の収入 (又は費用) になる場合はウに○をして下さい。

委託区分	ごみの種類													委託処理量	委託費用	委託形態 ア. 変動制 イ. 固定制 (日極、月極、年極等)	委託費の算定根拠 ア. 処理量 イ. 作業人員数 ウ. 不明 エ. その他	委託費決定方法 ア. 入札 イ. 協議 ウ. その他	資源物収支 ア. 指定法人 イ. 委託事業者 ウ. 市区町村等
	容器包装等									非容器包装									
	1. スチール缶	2. アルミ缶	3. びん	4. ペットボトル	5. プラ容包	6. 白トレイ	7. 紙パック	8. 段ボール	9. 紙容包	10. 新聞	11. 雑誌・雑紙	12. 非容包プラ	13. その他						
委託区分〔1〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ()	ア. イ. ウ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔2〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ()	ア. イ. ウ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔3〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ()	ア. イ. ウ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔4〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ()	ア. イ. ウ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔5〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ()	ア. イ. ウ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔6〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ()	ア. イ. ウ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔7〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ()	ア. イ. ウ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔8〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ()	ア. イ. ウ()	ア. イ. ウ.
委託区分〔9〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	t/年	万円/年	ア. イ.	ア. イ. ウ. エ()	ア. イ. ウ()	ア. イ. ウ.

(3)【直営の施設で選別保管している容器包装等について】直営施設が複数ある場合はお手数ですがコピーして下さい。

a) 施設の概要について

- ① 「①施設名」には、施設の名称を記入して下さい。
- ② 「②補助の有無」では、当該施設に補助金が活用されているか否かを選択（1又は2）していただき、補助金を活用している場合（1を選択した場合）には、何を根拠にした補助金であるかを「a」～「e」から選択して下さい。また、「e」に○をした場合は、（ ）内に活用資金の具体名をお書き下さい。
- ③ 「③対象物」では、当該施設で処理している対象物に該当する番号（1～13）に全て○をして下さい。また、「13」に○をした場合は、（ ）内に対象物名をお書き下さい（例：粗大ごみ、刈草・剪定枝、古繊維）。
- ④ 「④施設内の装置」には、施設内にある装置に該当する記号（a～1）に全て○をして下さい。「i」「1」に○をした場合は、（ ）内に装置名をお書き下さい。
- ⑤ 以下の「⑤総事業費」～「⑩選別工程別の運転状況」は、容器包装等の選別保管にかかる費用を把握するためにお尋ねするものです。当該施設が容器包装以外のごみ（可燃ごみ、生ごみ等）の処理施設（焼却炉、堆肥化施設等）と一体化している場合、他のごみの処理施設の⑤～⑩のデータを区分できるのであれば、容器包装選別保管施設に限定してご回答下さい。できない場合は施設全体についてご回答下さい。
- ⑥ 「⑤総事業費」には、補助金も含めた総事業費を記入して下さい。また、「⑤総事業費」に含まれる補助金額を「⑥うち補助金額」に記入して下さい。
- ⑦ 「⑦総事業費の内訳」の「選別保管装置費用」には、④で選択した選別保管装置の総購入費が該当します。「非容器包装対象装置費用」には、「⑤総事業費」に含まれた非容器包装対象装置の総購入費が該当します。「土木建築費用」には、基礎と建築物の工事費用が該当します。但し、土地造成費、地盤改良費、用地代、設計費は、「その他費用」に区分して下さい。「その他費用」には、これらと共に、展示室、研修室、再生品工房等のごみ処理に直接関係しない費用が該当します。なお、総事業費に重機代が含まれる場合は重機費分を「その他費用」に含めてください。
- ⑧ 「⑧重機」では、重機の保有台数、重機総購入費、耐用年数、年間燃料費用、年間維持管理費用を記入して下さい。なお、維持管理費用には、当該車両を維持管理する上で必要な全ての費用（修繕費、保険料等）が含まれます。
- ⑨ 「⑨人員数」では、施設勤務の属性別人員数合計を「人員数計」に記入し、「選別保管作業人員」、「管理・保守点検人員」、「その他人員」の内訳を記入して下さい。なお、これら人員のうち、他施設の保守点検や、他のごみ処理作業の兼任者がいる場合には、大凡の労働負荷で按分した人員数を記入して下さい（例：選別保管作業人員5名のうち2名は焼却ごみ処理作業も行っており、選別保管作業の労働負荷が4割程度である場合、3.8人（ $= 3 + 2 \times 0.4$ ）と記入して下さい）。また、「委託団体等の人員」の行については、市区町村が職員、パート・アルバイトとして雇用しているのではなく、福祉団体や民間業者等との団体間契約をしている場合にのみ、ご回答下さい。

b) コストについて

- ⑩ 「⑩ランニングコスト」は、当該施設の人件費、維持管理費、作業委託費の年間総額を記入して下さい。「人件費」には自治体職員及び直接雇用のパート・アルバイトの人件費を記入して下さい。なお、a) ⑨の人員数で他施設での作業を兼任している職員について按分している場合は、按分された人員分の人件費を含めて記入して下さい。「維持管理費用」は、人件費、作業委託費を除く全ての費用（光熱費、上下水道費、修繕費等）を指します。これについては大凡の「選別保管装置分」、「非容器包装対象装置分」、「その他分」の割合を記入して下さい。「作業委託費」は、団体、企業等に作業委託をしている場合に限り記入して下さい。

c) 選別工程等について

- ⑪ 「⑪選別工程別の運転状況」には、選別工程ごとの「選別工程区分」～「搬出量」を記入して下さい。「投入量」は処理量、「搬出量」は実資源化量を指します。
 - 選別工程区分の記号は、③の対象物と同じ記号が対応すると考えて、選択してください。施設内で処理する対象物区分が1つである場合は、ア行にのみご記入下さい。選別工程が複数ある場合は、選別工程ごとに行を変えて記入して下さい。
 - 例：ペットボトル、プラ容包、非容包プラを同一施設で処理しており、3品目を全て同一選別工程で同時に処理する場合はア行の「4, 5, 1 2」に○をして下さい。それぞれ別に処理している場合、ア行の「4」、イ行の「5」、ウ行の「1 2」に○をし、3行に分けて記入して下さい。
 - 関連装置の記号は、④の装置と同じ記号が対応すると考えて、選択してください。
- ⑫ 「⑫非容器包装投入量」は、「⑧重機費」の按分のためにご回答いただく設問です。⑧に回答した重機が、⑩に回答した容器包装等のみに利用されている場合は回答

の必要はございません。⑧に回答いただいた重機を、⑩に回答した容器包装等以外に利用している場合、重機を利用している非容器包装の投入量を記入して下さい。

a) 施設の概要について

施設名		補助の有無		1. 有り → a. リサイクルプラザ b. リサイクルセンター c. スtockヤード 2. 無し d. 廃棄物処理施設・清掃工場 e. その他()		
対象物		1. スチール缶 2. アルミ缶 3. びん 4. ペットボトル 5. プラ容包 6. 白トレイ 7. 紙パック 8. 段ボール 9. 紙容包 10. 新聞 11. 雑誌・雑紙 12. 非容包プラ 13. その他()				
施設内の装置	選別保管装置	a. 破袋機・除袋機 b. 手選別用ベルトコンベア c. 磁選機 d. アルミ選別機 e. 風力選別機 f. 圧縮装置 g. 結束装置 h. ガラスびん自動選別機 i. その他()				
	非容器包装対象装置	j. 堆肥化装置 k. 粗大ごみ処理装置 l. その他()				
総事業費		百万円	うち補助金額(の内数)	百万円		
総事業費の内訳		選別保管装置費用 ()% + 非容器包装対象装置費用 ()% + 土木建築費用 ()% + その他費用()% = 100%				
重機	保有台数	重機総購入費	耐用年数	年間燃料費用	年間維持管理費用	
	台	万円	年	万円/年	万円/年	
人員数	属性	人員数計	選別保管作業人員	管理・保守点検人員	その他人員	
	自治体職員・パートアルバイト	人	人	人	人	
	委託団体等の人員	人	人	人	人	

福祉団体や民間業者等との団体間契約がなければ、「委託団体等の人員」行は回答不要です。 その他人員は管理・保守点検、選別保管作業以外の人員数を指します。

b) コストについて

ランニングコスト	万円/年
人件費	万円/年
維持管理費	万円/年
選別保管装置分	%
非容器包装対象装置分	%
その他分	%
作業委託費	万円/年

c) 選別工程について

選別工程別の運転状況	選別工程区分		関連装置	投入量	搬出量
	ア	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	a. b. c. d. e. f. g. h. i.	t/年	t/年
	イ	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	a. b. c. d. e. f. g. h. i.	t/年	t/年
	ウ	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	a. b. c. d. e. f. g. h. i.	t/年	t/年
	エ	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	a. b. c. d. e. f. g. h. i.	t/年	t/年
非容器包装投入量				t/年	

(4)【公設民営で選別保管している容器包装等について】公設民営施設が複数ある場合はお手数ですがコピーして下さい。

a) 施設の概要について

- ①「①施設名」には、施設の名称を記入して下さい。
- ②「②補助の有無」では、当該施設に補助金が活用されているか否かを選択（1又は2）いただき、補助金を活用している場合（1を選択した場合）には、何を根拠にした補助金であるかを「a」～「e」から選択して下さい。また、「e」に○をした場合は、（ ）内に活用資金の具体名をお書き下さい。
- ③「③対象物」では、当該施設で処理している対象物に該当する番号（1～13）に全て○をして下さい。また、「13」に○をした場合は、（ ）内に対象物名をお書き下さい（例：粗大ごみ、刈草・剪定枝、古繊維）。
- ④「④施設内の装置」には、施設内にある装置に該当する記号（a～l）に全て○をして下さい。「i」「l」に○をした場合は、（ ）内に装置名をお書き下さい。
- ⑤ 以下の「⑤総事業費」～「⑬選別工程別の運転状況」は、容器包装等の選別保管にかかる費用を把握するためにお尋ねするものです。当該施設が容器包装以外のごみ（可燃ごみ、生ごみ等）の処理施設（焼却炉、堆肥化施設等）と一体化している場合、他のごみの処理施設の⑤～⑬のデータを区分できるのであれば、容器包装選別保管施設に限定してご回答下さい。できない場合は施設全体についてご回答下さい。
- ⑥「⑤総事業費」には、補助金も含めた総事業費を記入して下さい。また、「⑤総事業費」に含まれる補助金額を「⑥うち補助金額」に記入して下さい。
- ⑦「⑦総事業費の内訳」の「選別保管装置費用」には、④で選択した選別保管装置の総購入費が該当します。「非容器包装対象装置費用」には、「⑤総事業費」に含まれた非容器包装対象装置の総購入費が該当します。「土木建築費用」には、基礎と建築物の工事費用が該当します。但し、土地造成費、地盤改良費、用地代、設計費は、「その他費用」に区分して下さい。「その他費用」には、これらと共に、展示室、研修室、再生品工房等のごみ処理に直接関係しない費用が該当します。なお、総事業費に重機代が含まれる場合は重機費分を「その他費用」に含めてください。
- ⑧「⑧重機」では、重機の保有台数、重機総購入費、耐用年数、年間燃料費用、年間維持管理費用を記入して下さい。なお、維持管理費用には、当該車両を維持管理する上で必要な全ての費用（修繕費、保険料等）が含まれます。
- ⑨「⑨人員数」では、施設勤務の属性別人員数合計を「人員数計」に記入し、「選別保管作業員」、「管理・保守点検人員」、「その他人員」の内訳を記入して下さい。なお、これら人員のうち、他施設の保守点検や、他のごみ処理作業の兼任者がいる場合には、大凡の労働負荷で按分した人員数を記入して下さい（例：選別保管作業員5名のうち2名は焼却ごみ処理作業も行っており、選別保管作業の労働負荷が4割程度である場合、3.8人（＝3＋2×0.4）と記入して下さい）。また、「自治体職員・パート・アルバイト」の行については、委託事業者の人員の他に、市区町村の職員やパート・アルバイトが配置されている場合にのみ、ご回答下さい。

b) コストについて

- ⑩「⑩ランニングコスト」は、当該施設の運営委託費、その他費用の年間総額を記入して下さい。「運営委託費」は、大凡で結構ですので、「選別保管分」、「その他ごみ処理分」の割合を記入して下さい。「その他費用」は運営委託費以外の費用（自治体職員人件費等）を指します。
- ⑪「⑪委託形態」は、委託費が選別保管量等に応じた変動制の場合はア、月極め、年払い等期間固定の場合はイに○をして下さい。
- ⑫「⑫委託費の算定根拠」は、委託費が処理量に基づく場合はア、作業員数に基づく場合はイ、不明の場合はウに○をして下さい。また、算定根拠がその他にある場合はエに○をし、（ ）内にその算定根拠を記入して下さい。
- ⑬「⑬委託費決定方法」は、入札の場合ア、協議の場合イ、その他の場合にウに○をして下さい。なお、その他に○をした場合は（ ）内に決定方法を記入して下さい。
- ⑭「⑭資源物収支」は、委託事業者で処理された再商品化物を指定法人に引渡す場合はア、委託する業者の収入（又は費用）になる場合はイ、市区町村等の収入（又は費用）になる場合はウ、に○をして下さい。

c) 選別工程について

- ⑮「⑮選別工程別の運転状況」では、選別工程ごとの「選別工程区分」～「搬出量」を記入して下さい。「投入量」は処理量、「搬出量」は実資源化量を指します。
 - ◎「選別工程区分」の記号は、③の対象物と同じ記号が対応すると考えて、選択してください。施設内で処理する対象物区分が1つである場合は、ア行にのみご記入下さい。選別工程が複数ある場合は、選別工程ごとに行を変えて記入して下さい。
例：ペットボトル、プラ容包、非容包プラを同一施設で処理しており、3品目を全て同一選別工程で同時に処理する場合はア行の「4, 5, 1 2」に○をして下さい。
それぞれ別に処理している場合、ア行の「4」、イ行の「5」、ウ行の「1 2」に○をし、3行に分けて記入して下さい。
 - ◎「関連装置」の記号は、④の装置と同じ記号が対応すると考えて、選択してください。
- ⑯「⑯非容器包装投入量」は、「⑧重機費」の按分のためにご回答いただく設問です。⑧に回答した重機が、⑮に回答した容器包装等のみに利用されている場合は回答

の必要はございません。⑧に回答いただいた重機を、⑬に回答した容器包装等以外に利用している場合、重機を利用している非容器包装の投入量を記入して下さい。

a) 施設の概要について

施設名			補助の有無	1. 有り → a. リサイクルプラザ b. リサイクルセンター c. スtockヤード 2. 無し d. 廃棄物処理施設・清掃工場 e. その他()		
対象物	1. スチール缶 2. アルミ缶 3. びん 4. ペットボトル 5. プラ容包 6. 白トレイ 7. 紙バック 8. 段ボール 9. 紙容包 10. 新聞 11. 雑誌・雑紙 12. 非容包プラ 13. その他()					
施設内の装置	選別保管装置	a. 破袋機・除袋機 b. 手選別用ベルトコンベア c. 磁選機 d. アルミ選別機 e. 風力選別機 f. 圧縮装置 g. 結束装置 h. ガラスびん自動選別機 i. その他()				
	非容器包装対象装置	j. 堆肥化装置 k. 粗大ごみ処理装置 l. その他()				
総事業費	百万円	うち補助金額()の内数	百万円			
総事業費の内訳	選別保管装置費用()% + 非容器包装対象装置費用()% + 土木建築費用()% + その他費用()% = 100%					
重機	保有台数	重機総購入費	耐用年数	年間燃料費用	年間維持管理費用	
	台	万円	年	万円/年	万円/年	
人員数	属性	人員数計	選別保管作業人員	管理・保守点検人員	その他人員	
	委託団体等の人員	人	人	人	人	
	自治体職員・パートアルバイト	人	人	人	人	

自治体職員・パート・アルバイトがいなければ、「自治体職員・パート・アルバイト」行は回答不要です。 その他人員は管理・保守点検、選別保管作業以外の人員数を指します。

b) コストについて

ランニングコスト	万円/年	
運営委託費	万円/年	
選別保管分	%	
その他ごみ処理分	%	
その他費用	万円/年	
委託形態	ア. 変動制 イ. 固定制(日極、月極、年極等)	
委託費の算定根拠	ア. 処理量 イ. 作業人員数 ウ. 不明 エ. その他()	
委託費決定方法	ア. 入札 イ. 協議 ウ. その他()	
資源物収支	ア. 指定法人 イ. 委託事業者 ウ. 市区町村等	

c) 選別工程について

選別工程別の運転状況	選別工程区分		関連装置	投入量	搬出量
	ア	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	a. b. c. d. e. f. g. h. i.	t/年	t/年
イ	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	a. b. c. d. e. f. g. h. i.	t/年	t/年	
ウ	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	a. b. c. d. e. f. g. h. i.	t/年	t/年	
エ	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	a. b. c. d. e. f. g. h. i.	t/年	t/年	
非容器包装投入量				t/年	

IV. 容器包装等の売却・引渡について

- 分別収集後、選別処理等を行った容器包装等（集団回収分を除く）の年間引渡量と、その売却額又は支払額、輸送費負担状況を記入して下さい。
- 「3.びん」、「4.ペットボトル」、「5.プラ容包」、「6.白トレイ」、「9.紙容包」については、引渡先別（指定法人又は民間等）に引渡量と支払額を記入して下さい。
なお、指定法人へ市町村負担分（小規模事業者分）も引渡している場合には、その量も含め、支払額には、市町村負担分の支払額を記入して下さい。
- 「13.缶」欄は、「1.スチール缶」と「2.アルミ缶」を区分できない場合に記入して下さい。「14.びん（色分けせず）」欄は、びんを色分別せずに引き渡している場合に記入して下さい。「15.プラ類」欄は、「5.プラ容包」と「12.非容包プラ」の混合物でそれぞれに区分できない場合に記入して下さい。「16.紙類（9.紙容包除く）」欄は、「9.紙容包」以外の紙（新聞、雑誌、紙パック等）の混合物でそれぞれに区分できない場合に記入して下さい。「17.紙類（9.紙容包含む）」欄は、「9.紙容包」とその他の紙の混合物でそれぞれに区分できない場合に記入して下さい。
- 「18.その他」は「10.新聞」、「11.雑誌・雑紙」、「12.非容包プラ」以外で容器包装等と共に収集、選別している資源ごみがある場合に、その具体品目を（ ）内に記入し、引渡量等を記入して下さい。
- 「金額」について、民間への引渡額がゼロ円（無償引渡）の場合は、売却額側に「0=ゼロ」を記入して下さい。
- 「輸送費負担額」欄は、売却額や支払額に引渡先までの輸送費が含まれておらず、市区町村等が別途負担している場合にのみ、その金額を記入して下さい。

		1.スチール缶	2.アルミ缶	3.びん			4.ペットボトル	5.プラ容包	6.白トレイ	7.紙パック	8.段ボール	9.紙容包	
				無色びん	茶びん	その他色びん							
指定法人	引渡 量	/	/	t	t	t	t	t	t	/	/	t	
	支 払 額	/	/	万円	万円	万円	万円	万円	万円	/	/	万円	
民間等	引 渡 量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
	金額	売却額	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円
		支払額	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円
	輸送費負担額	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	

		10.新聞	11.雑誌・雑紙	12.非容包プラ	13.缶	14.びん (色分別せず)	15.プラ類	16.紙類 (9.紙容包除く)	17.紙類 (9.紙容包含む)	18.その他()
		民間等	引渡 量	t	t	t	t	t	t	t
金額	売却額	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円
	支払額	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円
	輸送費負担額	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円

ご協力ありがとうございました。

～ 容器包装リサイクル法の施行に伴う費用負担について～

今後の容器包装リサイクル法のあり方を検討する上で、法施行に伴い市区町村等における費用負担がどのように変化したかを把握したいと考えております。一般廃棄物処理事業に携わる方としての率直なお考えを回答して頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。

(1) 容器包装の分別収集から最終処分までにかかる経費を容器包装リサイクル法に基づくシステムの導入前後で比較した場合、貴市区町村等では、どの程度、経費が増加または減少しましたか。以下に示す費目について、それぞれ当てはまる状況に 印をご記入下さい(印は各費目について1つずつ)。また、「4. その他」の費目に該当する具体的な内容を()内にご記入下さい。さらに、経費が増減した費目については、具体的な理由または原因を右欄にご記入下さい。

	かなり 増大	やや 増大 (1~2割 増程度)	変化 なし	やや 減少 (1~2割 減程度)	かなり 減少	不明	経費が増減した 理由・原因
1. 収集費用							
2. 選別・保管費用 (導入前の処理と比較して)							
3. 最終処分費用							
4. その他()							
5. 総処理費用							

(2) 容器包装リサイクル法に基づくシステムの導入に伴う容器包装にかかる経費(収集から最終処分まで)の増減額を定量的に把握したことはありますか。

1. () 把握したことがある。 2. () 把握したことはない。

「把握したことがある」場合、おおよその結果をご記入下さい(経費の変化が分かる資料等がありましたら、ご同封下さい)。

(3) 容器包装リサイクル法の導入に伴い新たに発生する経費の増大に対して、貴市区町村等では、経費削減または維持に向けてどのような対策を実施していますか。当てはまる項目に 印をご記入下さい(複数回答可)。

<収集について>

- 1. () ごみの収集日を減らし、収集効率を向上させた。
- 2. () 渋滞を回避するために収集時間を変更し、収集効率を向上させた。
- 3. () 収集箇所数を減らし、収集効率を向上させた(個別収集からステーション方式への変更など)。
- 4. () 既存の収集車両を有効活用している。
- 5. () 収集車両の乗車人員数を減らした。
- 6. () 収集作業を直営から民間委託に変更した。
- 7. () その他(具体的な内容をご記入下さい: _____)

<選別・保管について>

- 8. () 住民に対して分別排出の徹底を求め、選別にかかる費用を削減した。
- 9. () 住民による分別区分を細分化し、選別にかかる費用を削減した。
- 10. () 選別・保管施設における作業員一人あたりの作業効率を向上させた。
- 11. () 既存の設備や重機を有効活用している。
- 12. () 選別・保管作業を直営から民間委託に変更した。
- 13. () その他(具体的な内容をご記入下さい: _____)

(4) 容器包装リサイクル法に基づいたシステムの円滑な導入・運営に向け、貴市区町村等では、住民に対してどのような施策を新たに講じていますか。当てはまる項目に 印をご記入下さい(複数回答可)。

- 1. () ごみの有料化や指定ごみ袋の有料販売を導入した。
- 2. () 容器包装分別用の袋を無料配布した。
- 3. () 分別に関する普及啓発を強化した(定期的な説明会の開催やパンフレットの配布など)。
- 4. () 分別指導体制を強化した(収集ステーション等における分別指導員の配置または増員など)。
- 5. () その他(具体的な内容をご記入下さい: _____)

市区町村名もしくは一部事務組合名を右欄にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

『容器包装リサイクルに係る費用算定に関するアンケート調査票』と合わせてご返送下さい。宜しくお願い致します。